

保護者等からの放課後等デイサービス事業所評価の集計結果（公表）

令和4年度  
（令和5年4月公表）

公表：令和5年4月1日

事業所名 ころろBASE 保護者等数（児童数） 28 回収数 14 割合 50%

		チェック項目	評価				ご意見	ご意見を踏まえた 対応
			はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・ 体制 整備	1	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	11	3	0	0	●少し狭い様な気がします。	●大阪府指導基準の1名当たり3㎡は満たしているが、児童の特性など配慮が必要な場合には室内に物品を置かないなど、リラクゼーションルームの設けて環境整備に努めている。
	2	職員の配置数や専門性は適切であるか	12	2	0	0		●国の配置基準2名のところ4名の職員を配置しているが、状況に合わせて増員を行っている。 ●本年度ころろ通信にて職員紹介を配布させていただきました。来年度も配布予定です。
	3	事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	10	3	0	1		●施設内の危険箇所を再度確認し安全に過ごせるよう環境作りに努めたい。入口の段差については、段差スローププレート等を用い安全な環境構築を行います。
	4	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画*1が作成されているか	10	3	0	1		●日々更新される療育の情報収集に力を入れ、きめ細やかな対応ができるよう努める。

適切な支援の提供	5	活動プログラム*2が固定化しないよう工夫されているか	12	2	0	0	●色々な活動をしてもらっている。	●季節感が感じられるように企画を行い、前回のプログラムの反省から常に新しいバージョンアップを図った取り組みを行うように進めている。 ●また、当事業所では学齢後期（およそ15歳～18歳）の児童支援を中心としており、就労へ向けて必要となる挨拶や言葉遣い等を身につけることができるようカリキュラムを組ませて頂いています。
	6	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	8	3	2	1		●青少年センターの活動として、毎月第三土曜日に『英語で歌おう』と題した活動をゴスペルシンガーの講師を招いて、当法人が主催して地域の小中学生に案内して、一緒に活動する機会を設けている。 ●長期休暇時などの休校時に地域行事への参加等を行い障がいのない子どもと接する機会を設けていきたい。 ●広報や、連絡帳での情報伝達に力を入れて参ります。
	7	支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	13	1	0	0	●連絡帳や電話で教えてもらっている。	●利用前に面談を行い、契約前に重要事項説明書を用い説明をしている。
	8	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	11	1	0	0		●ご利用いただいたときの送迎時や来所、降所時に児童の状況や課題について話すようにしている。また連絡帳や電話などを利用し、児童から伝えることが難しいと判断される内容等のフォローは必ず行うようにしている。
	9	保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	10	4	0	0	●保護者に対しての面談はない。	●利用児童、保護者により面談の頻度は変わるが、定期的に行っている。 ●より専門的な助言等を行えるよう、法人内専門職との連携及び、外部研修への参加促し等行う。 ●コロナウイルス感染症流行の影響もあり、電話やZoomでの対応を中心に行いました。今後は直接の面談を積極的に行いたいと考えています。

保護者への説明等	10	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	10	5	1	0	●これまで年に一度、保護者参加型の法人全体での保護者会「こころ夏祭り」を行い、児童の活動の様子などをスライドショーで紹介するなど、保護者の顔が見える形で連携支援する機会を作っている。保護者会、また季節行事など保護者参加型の行事や研修を企画したが、コロナウイルスの影響もあり中止した行事が多くある。現状に合った方法を模索し実施して参りたい。
	11	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	11	3	0	0	●事業所責任者だけでなく、法人内に苦情対応窓口を設置している。 ●より迅速に対応することができるよう、職員全員にスマートフォンを配布し、タイムラグをなくすよう努めている。
	12	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	12	2	0	0	●気になることはTELで確認させてもらってます。 ●登園時、降園時に、児童から伝えることが現段階では難しいと考えられる事項を伝えるようにしている。 ●また連絡帳等で伝えることができなかった事などは降園後でも電話等で行っている。 ●現在は、毎朝法人内運営事業所責任者とZoomでの全体朝礼を実施しています。今回ご意見頂いた件について、情報の行き違い等発生しないよう対応して参りたい。
	13	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	13	1	0	0	●お便り等で定期的に教えて頂いています。 ●当法人ではホームページの他にFacebookでの情報発信、月ごとの広報誌の発行も行っています。 ●ホームページやこころ通信からFacebookへのアクセスが可能ですので是非ご覧ください。 ●迅速な発信を心がけ発信して参ります。
	14	個人情報に十分注意しているか	13	1	0	0	●法人内でSNS等に掲載する場合、もしくは広報誌等で写真を載せる場合には個人が特定されないようマーク等を用い加工している。 ●また職員に対しても、法人内でスマートフォンの使用方法、児童への指導方法についての研修を行っています。を行っています。

非常時等の対応	15	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	11	3	0	0	緊急時、対応、防犯マニュアルは是非教えて欲しいです。 ●緊急時対応マニュアル、感染症マニュアルを策定し職員研修などを行っている。 ●職員、児童のみではなく保護者も含めて災害に対する意識向上を目指して、年に1回の総合避難訓練と保護者を合同で行うなど周知出来るよう尽力。
	16	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	11	4	0	0	●月に一回、避難経路を確認するため子どもたちと避難訓練を行っている。また年に一回、使用施設全体で消防隊員立ち合いのもと総合避難訓練を行っている。
満足度	17	子どもは通所を楽しみにしているか	14	0	0	0	●続けて、楽しく通える環境を維持していきたいと考えている。
	18	事業所の支援に満足しているか	14	0	0	0	●良く見てもらってます。 ●今後も、お子様の状況に合わせた対応を心掛けサポートさせていただきたいと考えています。 ●送迎車での送迎の場合、定期的に窓を開け換気する等、工夫はさせて頂いています。より安心してご利用いただけるよう、諸ニュース等も含め情報収集に努め、適宜、状況に応じた対応を行って参りたい。 ●当法人において総合支援研究局という専門職で構成された部局を作り、企画委員会を設置し、行事企画、支援対応の精査を行っています。より力を入れて運営して参りたい。

\*1 放課後等デイサービスを利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のこと。放課後等デイサービス事業所の児童発達支援管理責任者が作成する。

\*2 事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のこと。子どもの障がい特性や課題、平日/休日/長期休暇の別等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されている。